

春の企画展

「骸骨ビルの庭」展



2011年 5月21日(土) — 9月8日(木)

授業期

〔開館時間〕 9:20-19:50(平日) 土曜日は17:00まで

〔休館日〕 日曜・祝日、6/30*

学休期

8/1⑩~9/8⑩

〔開館時間〕 9:20-18:00(平日) 〔休館日〕 土曜・日曜・祝日 不定期な休館日があります。

*詳しくは図書館HPでご確認いただくか、直接図書館にお問い合わせください。

オープンキャンパス

6/19⑩、7/17⑩、8/7⑩・28⑩ オープンキャンパス開催日は15:00まで開館しています。

骸骨ビルの庭展

2011年春の企画展は、第13回司馬遼太郎賞受賞作「骸骨ビルの庭」(講談社、2009年刊)をテーマに開催します。作品や登場人物、舞台となった大阪・十三などにも焦点を当てご紹介しします。また、今回は来場者の皆様にもご参加いただける企画を用意しておりますので、ぜひご来場ください。

あらすじ

舞台は平成6年の大阪・十三。取り壊しが決定している古いビルに居座っている住人立ちを立ち退かせるために一人の男が管理人として派遣される。「骸骨ビル」と呼ばれるそのビルは、二人の青年と戦災孤児たちが、戦後の貧しい時代を共に生き抜いた場所だった。住人たちの語りによって鮮明に甦ってゆくかつての日々。そこには彼らの揺るがない絆があった。

展示内容

- 作品紹介
- 登場人物紹介
- 直筆原稿
- 舞台である大阪・十三の紹介
- 作品中に登場する料理の紹介
- 司馬遼太郎賞受賞に関する記事
- 昭和初期に建てられた関西の西洋建築の紹介

「骸骨ビルの庭」に関する感想文を募集しています

展示会場にて皆さんの感想文をご紹介します。多数のご応募お待ちしております。

[応募について]

- ①感想文(MSワードまたはテキスト形式・300文字以内) ②氏名 ③住所(都道府県) ④電話番号
⑤年齢(〇歳代だけでも可) ⑥性別 ⑦この募集を知ったきっかけ
以上を明記のうえ、下記E-mailアドレスまでお送りください。

※内容確認のためご連絡をさせていただく場合がございます。

E-mail送信先 teru-museum@office.otemon.ac.jp

締め切り 2011年5月1日(日)

※掲載の可否および文章の編集につきましては、本学にて調整させていただきますので予めご了承ください。

宮本輝ミュージアムについて

『宮本輝ミュージアム』は、追手門学院大学第一期生で現在も活躍する作家・宮本輝氏とその作品を紹介する場として、2005年5月追手門学院大学附属図書館内に開設しました。宮本輝氏の直筆原稿や、愛用品などを常設展示しているほか、作品をより深く感じていただけるよう、舞台背景の紹介や作品の魅力を伝える展示物など様々な角度から掘り下げた企画展を年2回開催しています。



スクールバス利用

- 阪急茨木市駅西口から発車



※スクールバスはどなたでもご利用いただけます。時刻表につきましてはHPでご確認ください。

阪急バス利用

「JR茨木」から
「追手門学院前」下車
(JR茨木駅前3番
バス乗場82・88系統)



宮本輝ミュージアム

(追手門学院大学附属図書館内)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 [開館時間] 図書館開館時間に準ずる。
TEL: 072-641-9639 FAX: 072-643-9786 ※詳しくはHPでご確認ください。

URL: (附属図書館) <http://www.oullib.otemon.ac.jp/>

(宮本輝ミュージアム) <http://www.oullib.otemon.ac.jp/teru/index.html>



おうてもん
追手門学院大学

URL: <http://www.otemon.ac.jp/>